



そう来たか、、、

---

街のタバコ屋さんに行った。オジサンも、被災地の出身だった。それ以前から、私はそこかしのタバコさんと仲がいい。買い方が変わっているせいかもしれない。千円出して、銘柄を言って、二個ください！と言う。あれば、20円も渡す。値上がり以降、どこも釣り銭が足りなくなるんじゃないかと気が気じゃないって言ってるから。因みに、値上がり前は3個買えた。オジサンは、最近デザインが変わってしまった煙草に振り回されて疲れていた。新商品も続々と出るしね。

が、昨日のオジサンは、あるかなあと、もっと不安そうな声を出した。あった、あったと言いながら、もう入荷しないからねえと苦笑の表情で言った。

そうなんだってねと言ったら、工場が生産できないんだってと言う。あれれ？変だなあ。オジサン、知らないのかなあ。なんでもさ～、フィルターを作ってたのが東北だったんだってねと言ってみた。知らないそうだ。説明されなかったのかなあ。だとしたら、酷いなあ。知ったところで救われないけど。

店を閉める事になるかもしれない、頭が痛いと言った。本当に頭痛がしてるみたいだった。涙目だった。

今回、既に倒産した会社だってあるだろう。だけど、これからもっと潰れる店が出るだろう。私は、被災地から戻って以来、主に商店を励まして歩いていた。東京の経済が凍てついたら、復興が遅れると考えて。

タベは、お客さんが減って大変だという神楽坂の居酒屋に、さる友人と飲みに行った。友人面するのも恐れ多いその方は、今回の件で、色々と私と見解が似ていた。なので、経済支援に飲みに行こうかと誘ったら時間を作ってくれた。

私の開口一番は、この辺は物資が豊富ですね！卵もトイレットペーパーもスパゲッティも何でもありますね！だった。戦後みたいだ。実際、私の住む、上品と言われている地域でも、トイレットペーパーが盗まれるんだから、本当の戦争ってこんなものじゃ済まされないよって言われるかもしれないけれど、充分凄まじい。が、もっとホントの事を言うと、私はまだ戦争は終わってないと思ってた。だからこんなにタフなんだと思う。

彼は、私のモノの考え方は前衛的だという。面白くって胸のつかえが取れたそうだ。良かった。彼も戦士の一人だから。

友人が、何軒ものタバコ屋さんを歩いたという。いつもの銘柄が既に無くて。私は、大好きなタバコ屋さんに行った。彼は、これが最後の入荷だけれど、入荷させてた。友人に知らせた。彼もその店でよく買ってたし。今後は、皆でセブンスターを分け合って吸うのかな。実は、私はオジサンらのトコで買う銘柄がパッケージデザインを変えてカッコ悪くなったので、こっちの店でフランス煙草を買うようになっていた。一応、どっちも気に入っている。今日、ある友人は、地震でメチャメチャになった店の掃除をしていた。私が東京に戻ったと知り、どうやって！？と尋ねた。運が良くてね、が、またそっちに行くよ、避難所に行くつもりなんだ、こっちで出来る事は一通り終えたから。

タバコ屋の彼に私は言った。被災者に酒と煙草を届けているんだろうかね？絶対に必要だと思う

んだけど。彼も同感だった。そして、こづかい。自由に使える金が千円でいいからあれば、、、。

義援金を、会社の宣伝にしようとしている男がいる。私は、彼と縁を切るだろう。

性格、考え方、頭のよしあし、、、人間性が丸見えになっている。

長くて広い目で今回の事を捉えたいと思うけれど、皆、放射能が怖くてそれどころじゃないか、、、。

私は、あるフランス人から、原発の事で議論をふっかけられそうだ、、、。

薬局のオバサンが、3日前にようやく休みが取れて、夕方まで爆睡したとの事だ。

良かった。やっと女性が登場した（笑）。

お勧め映画がある。「酔いどれ詩人になるまえに」

マット・ディロン主演。

煙草をやたらと吹かしている。

小道具としての使い方も最高だ。

これを機に禁煙するかもしれない方には危険だ（笑）。